



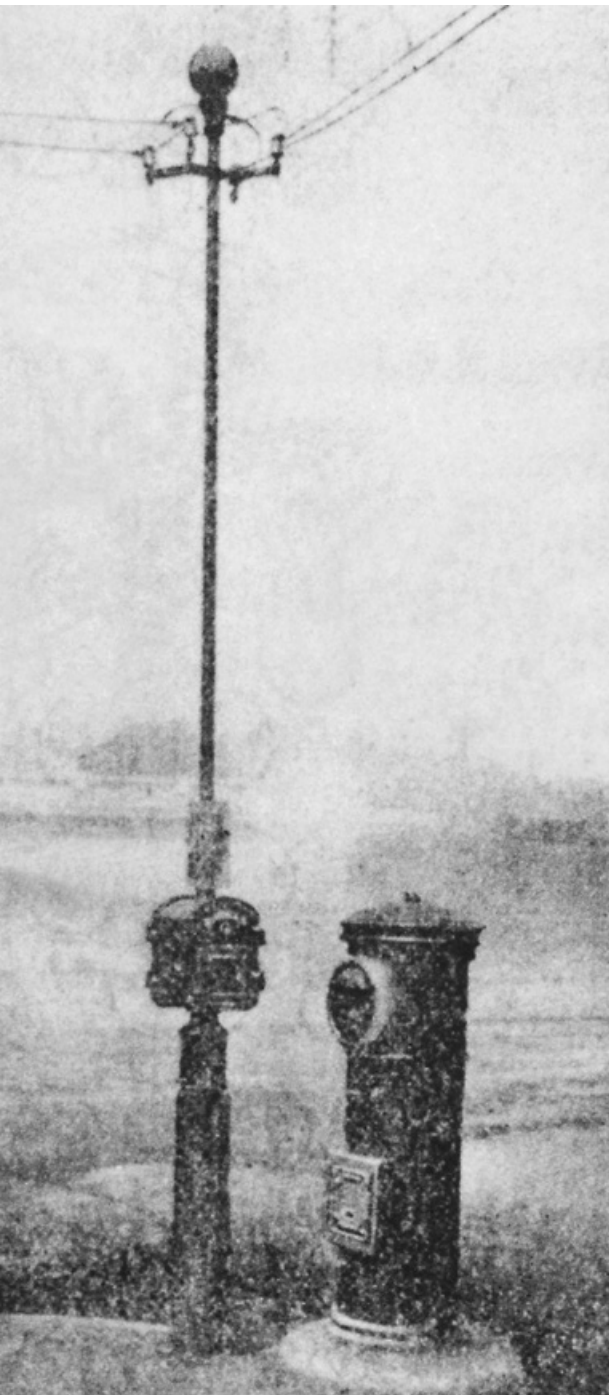
株主通信

第128期 中間報告書

(2023年4月1日から2023年9月30日まで)



ホーチキ株式会社



ホーチキの経営理念

人々に安全を

災害の防止をとおして人命と財産の保護に貢献する。

社会に価値を

社会に価値ある商品とサービスを供給する。

企業をとりまく人々に幸福を

従業員と株主、協力者および地域社会の人々に
豊かな生活と生き甲斐のある場を提供する。

ホーチキは、世の中から火災による災害がなくなることを願って、1918年、日本で最初の火災報知機メーカーとして設立されました。以来、上記経営理念のもと、火災防災からセキュリティや情報通信の分野へと事業領域を拡げ、安全・安心な社会づくりを目指しております。

目次

株主の皆様へ	1
決算ハイライト（企業集団・連結）	3
連結決算の概況	
連結貸借対照表（要旨）	4
連結損益計算書（要旨）	4
連結株主資本等変動計算書	4
個別決算の概況	
貸借対照表（個別）（要旨）	5
損益計算書（個別）（要旨）	5
株主資本等変動計算書（個別）	5
TOPICS	6
株式の状況	8
会社の概況	8
事業所	9
取締役、監査役及び役付執行役員	9

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび第128期第2四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年9月30日）の決算につきまして、事業の経過とあわせてご報告申し上げます。

■事業の経過及びその成果

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の「5類」移行に伴い、社会経済活動の正常化が進んだものの、ウクライナ情勢の長期化や原材料・資源価格の高騰、インフレ抑制に向けた欧米諸国による政策金利の引き上げ等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

防災・情報通信業界におきましても、2024年度から適用される改正労働基準法への対応に関する労務費の増加や、原材料価格、物流費の上昇等、収益に影響を及ぼすリスクが顕在化しております。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画「VISION2023（2021～2023年度）」の実現に向け、全社を挙げて営業活動を推進してまいりました。国内においては、ストック事業であるリニューアルやメンテナンスが順調に進捗したことに加え、製品価格の改定や工期前倒し施策の実施も業績に寄与いたしました。また、海外においては、為替の影響を含め、火災報知設備を構成する製品群のシステム販売が好調に推移いたしました。その結果、受注高は54,328百万円（前年同期比9.7%増）、売上高は41,568百万円（同10.4%増）と増加しました。また利益においては、経営計画に基づく開発投資の実施や採用活動の強化、物価高を反映した労働条件の改善等により、販売費及び一般管理費が増加したものの、営業利益は1,787百万円（同181.1%増）、経常利益は2,109百万円（同98.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,512百万円（同79.8%増）と、いずれも前年から大幅に増加しました。

■事業別の概況

防災事業の火災報知設備と消火設備につきましては、CRM（営業管理システム）を最大限活用した効果的な新築・リニューアル需要の取り込みと、新築受注からメンテナンス受注に至る部門間の更なる連携強化を推し進めてまいりました。海外におきましては、感知器等を単体で販売するビジネスモデルから、周辺機器を含めた火災報知設備の製品群をシステム販売する施策への転換を推進するとともに、建物規模の大きな市場へ事業領域を拡げる施策を展開してまいりました。

以上の結果、防災事業の受注高は46,861百万円（同12.1%増）、売上高は35,260百万円（同11.1%増）、セグメント利益（営業利益）は4,760百万円（同61.6%増）となりました。

情報通信事業等の情報通信設備と防犯設備等につきましては、放送・インターホン設備において新築・リニューアル需要を取り込むとともに、主にアクセスコントロール設備において、防災事業の顧客基盤を活かした営業活動を展開してまいりました。

以上の結果、情報通信事業等の受注高は7,467百万円（同3.2%減）、売上高は6,307百万円（同6.3%増）、セグメント損失（営業損失）は205百万円（前年同期はセグメント利益38百万円）となりました。

■対処すべき課題

当社グループを取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症が収束に向かっているものの、電子部品を中心としたサプライチェーンの停滞や、原油高をはじめとする資源価格の高騰、金融資本市場の変動など、収益に影響を及ぼすリスクが継続しております。

このような環境の中、当社グループは、経営理念である「人々に安全を」「社会に価値を」「企業をとりまく人々に幸福を」を具現化し、企業価値向上と持続可能な社会に一層の貢献を果たすべく、中期経営計画「VISION2023」の達成に向けた施策を実行し、企業体質変革を実現します。



経営目標

「将来への戦略投資」を確実に実行し、「経営体質改善」と「財務基盤強化」により、「営業利益率」の改善と「ROE」の維持を目指します。

財務指標 2023年度(見直し)	売上高	865億円
	営業利益	61億円
	売上高営業利益率	7.1%
	自己資本利益率(ROE)	9.5%

経営施策

①「競争優位性の高いビジネスモデル」を追求し、持続的成長を実現します。

国内におきましては、効率的な顧客循環サイクルを踏まえた施策を実施します。

防災事業につきましては、CRMを最大限活用し、効果的に新築・リニューアル需要を取り込みます。メンテナンス事業におきましては、更なる安定成長を目指し、業務品質の向上を図りながら、デジタル技術を活用した付加価値サービスの提供に向けた施策を進めます。

情報通信事業等につきましては、今後も市場成長が見込まれるセキュリティ分野へ注力するとともに、アライアンス先との連携を強化し、提案型営業のビジネスモデルを確立します。

海外におきましては、継続する市場成長を背景に、当社の成長シナリオの中心として位置付けております。戦略製品である新型受信機を軸に、火災報知設備を構成する製品群のシステム販売を推進するとともに、建物規模の大きな市場や新規顧客へ営業領域を拡げるなど、市場の深耕を図ります。また、欧州、米国、アジアパシフィックの主要地域を中心に、地域ごとの最適なビジネスモデルを展開し、当社の強みである技術サポート力を活かしながら、海外事業の着実な伸長を目指します。

②持続的な成長を支えるモノづくり基盤を強化します。

将来に向けた基礎研究や要素技術開発を強化するなど、中長期的な視点で「モノづくり力」を高めます。また、将来にわたって、高品質で、コスト競争力のある製品を適切な納期で提供できるよう、商品企画・開発から部品調達・生産技術・製造までのグローバルでのサプライチェーンマネジメントの再構築を進めるとともに、新たな付加価値商品の創出に向けた取り組みを推進します。

③環境変化に適応した経営改革を進めます。

当社グループの持続的な成長を図るため、競争力強化に向けたグローバル・高度専門人材の積極登用やジョブ型人事制度の整備、従業員エンゲージメントの向上や高齢者・女性の更なる能力発揮など、多様性を経営に活かす施策を実施します。また、資本効率を意識した事業運営により、財務の健全性の維持・向上に努めるとともに、新たな企業価値を提供するDX（デジタル・トランスフォーメーション）の展開や、環境、社会貢献等、将来への戦略投資につきましては、投資マネジメントの精度向上を図りつつ、着実に実行します。

当社グループは、防災事業を核とする企業活動を通して安全・安心な社会の構築に貢献するという経営目標のもと、高品質な製品・システムの提供や、収益性を重視した製造・販売・施工・保守体制の充実を図ってまいります。また、「グループESG基本方針」に従って、透明性の高いコーポレート・ガバナンスの充実や脱炭素社会の実現に向けた活動を実施するとともに、2024年度から適用される改正労働基準法も踏まえた就労環境の改善・整備など、健康経営を推進することにより、多様な価値観を持つ人材が個性や能力に応じて活躍できる体制を構築し、社会と共生していく「魅力あるグローバルブランド」に向けて挑戦してまいります。

2023年12月

代表取締役社長執行役員 細井 元

決算ハイライト (企業集団・連結)

(百万円)

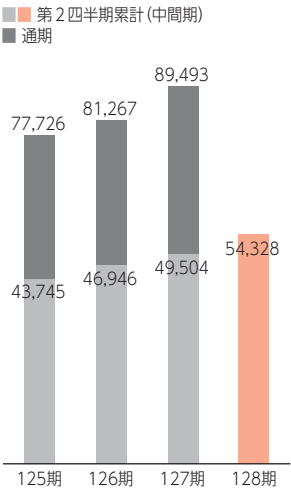
	第125期		第126期		第127期		第128期	
	第 2 四半期	通期	第 2 四半期	通期	第 2 四半期	通期	第 2 四半期 (当第 2 四半期 連結累計期間)	通期 (見通し)
受注高	43,745	77,726	46,946	81,267	49,504	89,493	54,328	—
売上高	32,898	76,567	35,810	81,251	37,662	85,457	41,568	86,500
経常利益	768	5,273	1,301	5,626	1,060	5,857	2,109	6,100
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	548	3,825	955	4,124	841	4,422	1,512	4,500
1 株当たり四半期(当期)純利益 (円)	21.89	152.75	38.15	164.70	33.58	176.65	60.91	181.40
総資産	58,721	67,626	62,979	73,912	70,006	77,816	76,470	—
純資産	34,564	39,014	39,424	42,854	42,819	46,340	48,014	—
自己資本比率 (%)	58.6	57.5	62.4	57.8	61.0	59.3	62.6	—
1 株当たり純資産 (円)	1,375.22	1,552.01	1,568.40	1,704.73	1,703.90	1,849.83	1,931.38	—

※ 1 株当たり四半期（当期）純利益は期中平均発行済株式数により、1 株当たり純資産は期末発行済株式の総数により、それぞれ自己株式数を控除した株式数を用いて算出しております。

※ 「収益認識に関する会計基準（企業会計基準第29号 2020年3月31日）」等を第126期の期首から適用しており、第126期以降に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

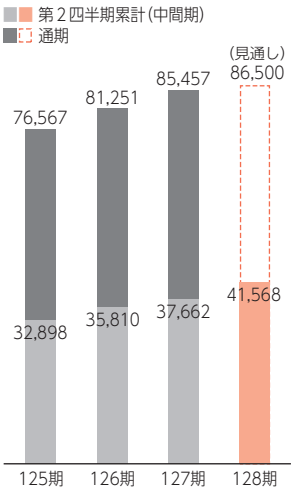
受注高

(百万円)



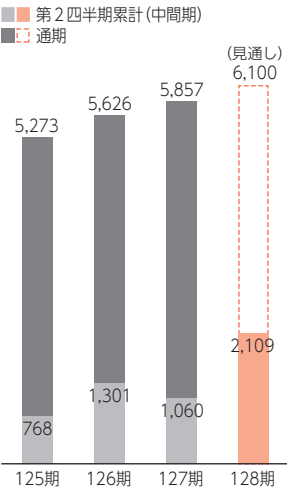
売上高

(百万円)



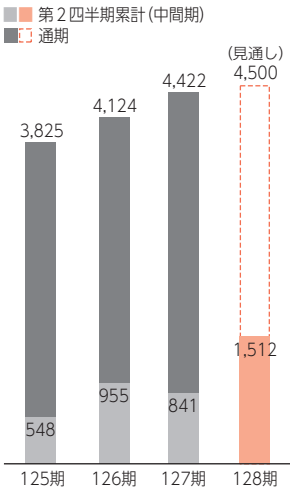
経常利益

(百万円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(百万円)



個別決算の概況

貸借対照表 (個別) (要旨)

(単位：百万円)

科 目		前事業年度 2023年3月31日現在	当第 2 四半期会計期間 2023年 9月30日現在
資産の部	流動資産	46,112	42,595
	固定資産	20,552	21,134
	有形固定資産	7,951	7,945
	無形固定資産	565	551
	投資その他の資産	12,034	12,637
資産合計		66,664	63,730
負債の部	流動負債	21,864	18,738
	固定負債	6,753	6,802
	負債合計	28,618	25,540
純資産の部	株主資本	37,767	37,245
	資本金	3,798	3,798
	資本剰余金	2,728	2,728
	利益剰余金	35,501	35,280
	自己株式	△ 4,260	△ 4,561
	評価・換算差額等	278	944
	その他有価証券評価差額金	920	1,585
	土地再評価差額金	△ 641	△ 641
	純資産合計	38,046	38,189
	負債・純資産合計	66,664	63,730

損益計算書 (個別) (要旨)

(単位：百万円)

科 目	前第 2 四半期累計期間 2022年 4月 1 日から 2022年 9月30日まで	当第 2 四半期累計期間 2023年 4月 1 日から 2023年 9月30日まで
売上高	29,275	31,776
売上原価	21,098	22,315
売上総利益	8,177	9,461
販売費及び一般管理費	8,250	8,917
営業利益又は営業損失 (△)	△ 73	543
営業外収益	881	901
営業外費用	24	37
経常利益	783	1,407
特別利益	128	0
特別損失	—	14
税引前四半期純利益	912	1,393
法人税、住民税及び事業税	34	145
法人税等調整額	160	183
四半期純利益	718	1,064

株主資本等変動計算書 (個別) (2023年 4月 1 日から2023年 9月30日まで)

(単位：百万円)

	株主資本								評価・換算差額等				純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益 準備金	利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	土地 再評価 差額金	評価・ 換算差額等 合計		
		資本 準備金	資本 剰余金 合計		別途 積立金	繰越利益 剰余金						利益 剰余金 合計	
当事業年度期首残高	3,798	2,728	2,728	672	3,136	31,693	35,501	△ 4,260	37,767	920	△ 641	278	38,046
第 2 四半期累計期間中の変動額													
剰余金の配当						△ 1,285	△ 1,285		△ 1,285				△ 1,285
四半期純利益						1,064	1,064		1,064				1,064
自己株式の取得								△ 352	△ 352				△ 352
自己株式の処分								51	51				51
株主資本以外の項目の第 2 四半期 累計期間中の変動額(純額)										665		665	665
第 2 四半期累計期間中の変動額合計	—	—	—	—	—	△ 221	△ 221	△ 301	△ 522	665	—	665	143
当第 2 四半期会計期間末残高	3,798	2,728	2,728	672	3,136	31,471	35,280	△ 4,561	37,245	1,585	△ 641	944	38,189

東京国際消防防災展2023に出展

2023年6月15日（木）～18日（日）の4日間、東京ビッグサイトで開催された「東京国際消防防災展2023」に出展しました。本展示会は5年に1度開催される、消防防災に関する国内最大級のイベントで、約167,000名の方が来場しました。

「総合防災ソリューションで安全・安心空間を創出する」というコンセプトのもと、防災に関するコンサルティングから研究・開発、製造、販売、設計・施工、メンテナンスまでの一貫体制をとる、当社ならではの幅広い製品ラインナップを展示したほか、土日開催イベントとして、ご家族で参加できる防災見学ツアーも行い、当社製品を身近に感じていただく機会となりました。

今後も、各種イベントへの出展を通じ、当社技術情報を紹介してまいります。



日経IR・個人投資家フェア2023に出展

2023年9月1日（金）～2日（土）の2日間、東京ビッグサイトで開催された「日経IR・個人投資家フェア2023」に出展しました。本展示会は個人投資家向けのIRイベントで、来場者とオンライン参加者の合計で約27,000名の方が参加しました。

当社の事業概要や今後の成長戦略、利益還元方針を理解していただくため、ブース内でミニ説明会を計16回開催し、ブース内は終始、盛況となりました。

今後も、個人投資家の皆様に限らず、当社の経営戦略や投資魅力を発信するため、IR活動を強化してまいります。



英国グループ会社の固定資産取得と新倉庫の稼働開始

当社グループは、海外に17拠点を設立し、海外事業を拡大しており、この10年間で海外事業の売上高は倍増するとともに、製品の納入先は129の国と地域に広がっています。

グループ全体におけるサプライチェーンの最適化と生産力の向上に向け、2023年2月、英国グループ会社「ホーチキヨーロッパ（U.K.）リミテッド」は、現在のオフィスに近接した場所に、敷地面積約7,800㎡の土地・建物を取得し、同年7月、新倉庫を本格稼働いたしました。

当施設は、最新のテクノロジーとリソースを備え、製品収容力・出荷力ともに強化されており、欧州における倉庫・配送拠点、販売・管理拠点の拡大を目指しております。

今後、将来の成長に向けた投資を積極的に行い、さらなる事業成長を図ってまいります。



ダイバーシティ&インクルージョンの推進

当社グループは、2023年5月、「ホーチキグループダイバーシティ&インクルージョン宣言」をいたしました。本宣言は、グループESG重点テーマである「誰もが活躍できる社会づくり」の実現に向け、ダイバーシティ&インクルージョン（以下、D&I）を重要な経営戦略の一つと位置付け、多様性が生み出すエネルギーや創造性を経営に活かしていくことを目的としております。新たに設置したD&I推進部会が中心となり、3つの項目に優先的に取り組みながら、グループ全体にD&I風土の浸透、定着を図るとともに、多様な人材がより活躍できるような仕組み作りを進めてまいります。

3つの優先取り組み項目

- ① 性別に関係なく活躍しやすく！**
ジェンダーギャップを解消し、誰もが活躍できる職場を作ります。
- ② 家庭も仕事も両立しやすく！**
ライフステージに合わせて柔軟・多様な働き方ができる職場を作ります。
- ③ 若手もベテランも成長を実感しやすく！**
年齢や経験に関係なく、自分らしく、自ら挑戦できる職場を作ります。

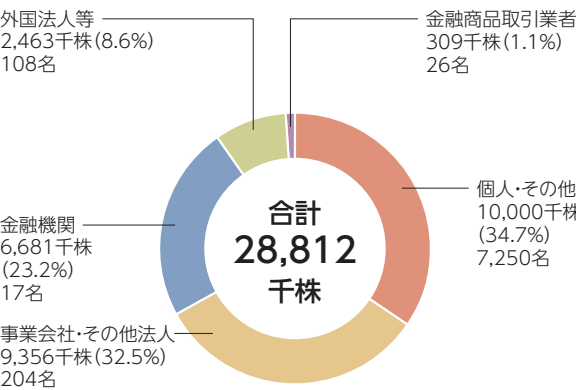
株式の状況 (2023年9月30日現在)

発行可能株式総数 115,000千株
発行済株式の総数 28,812千株
期末株主総数 7,605名 (前期末比3,184名増)
大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
総合警備保障株式会社	4,380 千株	17.5%
三和ホールディングス株式会社	2,274	9.1
東京海上日動火災保険株式会社	2,029	8.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,802	7.2
トア再保険株式会社	850	3.4
ホーチキ従業員持株会	795	3.2
重田 康光	683	2.7
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	585	2.3
三菱UFJ信託銀行株式会社	512	2.0
エア・ウォーター株式会社	500	2.0

(注) 1. 当社は、自己株式を3,808,387株保有しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況



(注) 1. 記載株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 自己株式3,808,387株は、個人・その他に含めております。

会社の概況 (2023年9月30日現在)

設立 1918年4月2日
資本金 37億9,800万円
営業項目

- 火災報知設備 自動火災報知設備、非常警報設備、火災通報装置、超高感度煙監視システム、防排煙制御設備、住宅用火災警報器
- 消火設備 スプリンクラー設備、放水銃システム、固定式放水型スプリンクラーシステム、屋内・屋外消火栓設備、泡消火設備、窒素消火設備、二酸化炭素消火設備、トンネル非常用設備
- 情報通信設備 テレビ共同受信設備、屋内放送設備、インターホン設備、ITV設備、LAN設備、ネットワークカメラシステム
- 防犯設備等 防犯設備、入退室管理システム、鍵管理システム

連結従業員 2,298名 (259名)
従業員数は就業人員であり、顧問、嘱託、臨時従業員数は〔 〕内に当第2四半期連結累計期間の平均人員を外数で記載しております。

事業所 (2023年9月30日現在)

本社 東京都品川区上大崎二丁目10番43号

支店 東京（東京都品川区）、横浜、名古屋、関西（大阪府東大阪市）

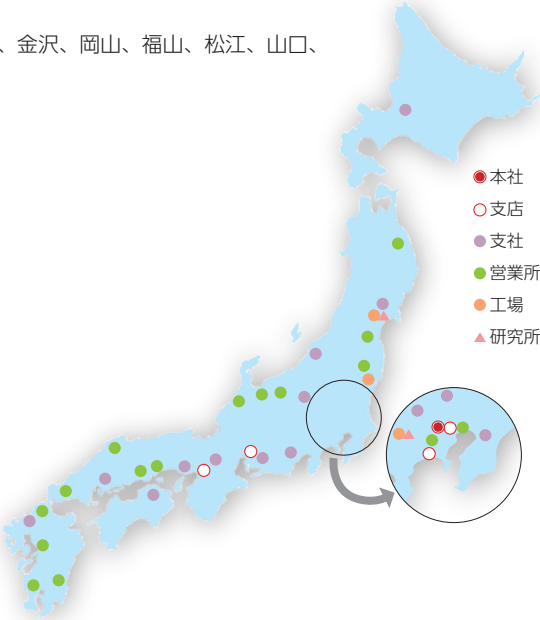
支社 北海道（北海道札幌市）、東北（宮城県仙台市）、新潟、上信越（群馬県高崎市）、北関東（埼玉県さいたま市）、西関東（東京都八王子市）、千葉、静岡、豊田、京都、神戸、四国（香川県高松市）、中国（広島県広島市）、九州（福岡県福岡市）

営業所 盛岡、福島、長野、宇都宮、丸の内（東京都千代田区）、川崎、富山、金沢、岡山、福山、松江、山口、北九州、熊本、鹿児島、宮崎、台湾

工場 町田（東京都町田市）、宮城（宮城県角田市）、茨城（茨城県結城郡）

研究所 開発研究所（町田工場・宮城工場に併設）

子会社等 ホーチキ商事株式会社
ホーチキ茨城電子株式会社
ホーチキエンジニアリング株式会社
関西ホーチキエンジニアリング株式会社
水戸ホーチキ株式会社
株式会社ディーディーエル
ホーチキアメリカコーポレーション（米国）
ホーチキヨーロッパ（U.K.）リミテッド（英国）
ホーチキオーストラリアPTYリミテッド（豪州）
ホーチキサービスS.de R.L.de C.V.（メキシコ）
ホーチキメキシコS.A.de C.V.（メキシコ）
ケンテックエレクトロニクスリミテッド（英国）
ホーチキミドルイースTFZE（ドバイ酋長国）
ホーチキアジアパシフィックPTEリミテッド（シンガポール共和国）
ホーチキイタリアSRL a s.u.（伊国）
ホーチキタイランドリミテッド（タイ王国）



取締役、監査役及び役付執行役員 (2023年9月30日現在)

代表取締役 会長執行役員	山形 明夫	常務執行役員	森 敏	取締役 上席執行役員	天野 潔
代表取締役 社長執行役員	細井 元	常務執行役員	米澤 道裕	監査役	平井 裕次
取締役 常務執行役員	伊谷 一人	常務執行役員	八木 公彦	社外監査役	中村 匡秀
取締役 常務執行役員	吉本 康弘	社外取締役	中野 秀代	社外監査役	田中 誠
取締役 常務執行役員	小林 靖治	社外取締役	松永 祐明	監査役	安達 美奈子

※監査役のうち、平井裕次氏及び中村匡秀氏は、常勤監査役であります。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
同総会権利行使 株主確定日	3月31日
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
その他の基準日	必要ある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告の上 設定します。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
上場金融商品取引所	東京証券取引所（プライム市場）
証券コード	6745
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.hochiki.co.jp/ (ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告を 行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載し、行い ます。)

【ご注意】

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、
口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座
を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託
銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀
行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ
信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次
ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



ホームページのご案内



当社に関する最新動向や情報をお伝えしております。



<URL> <https://www.hochiki.co.jp/>

ホーチキ株式会社

検索

株主の皆さまの声をお聞かせください



当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、
アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、
アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー 6745C0a6



スマートフォンから
カメラ機能で
QRコードを読み取り
QRコードは株式会社デンソーウェーブ
の登録商標です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」✉ koekiku@pronexus.co.jp

